

# サステナビリティ経営



## サステナビリティ経営方針(2022年4月1日策定)

弊社では、地域と環境・社会・経済の持続可能性への貢献および自社のサステナビリティに資する経営の実現のために、2030年に向けて**11分野のマテリアリティ(重点領域)**に優先的に取り組んでまいります。

この取り組みを通じて、**SDGsへの貢献**に加え、変化する環境・時代に合わせた新たな事業を創出し、**安定的かつ長期的な成長**を目指します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



マテリアリティ	具体的な取り組み	主に貢献を目指すSDGs
苦小牧西港フェリーターミナルの信頼性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅客・物流ニーズに対応したシステム・サービスの改善</li> <li>● 定時運航を支える施設整備と安全作業の維持</li> </ul>	
全ての人が快適に利用できるターミナル施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● バリアフリー化の推進</li> <li>● ユニバーサルツーリズムへの取り組み</li> </ul>	
北海道観光の振興に資する海の玄関口としての確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フェリー旅の魅力等の発信</li> <li>● 道内観光の発展への貢献</li> </ul>	
サステナビリティを高める産業用地等の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域企業間のパートナーシップ強化・共創の支援</li> <li>● サステナビリティに資する事業の立地支援</li> </ul>	
脱炭素化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業エリアにおけるクリーンエネルギーの利用促進</li> <li>● カーボンニュートラルポートの実現に向けた貢献</li> </ul>	
苦小牧の新たなまちづくりへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人々が住み暮らしやすい「まちづくり」の実現</li> </ul>	
地域社会とのコミュニケーションの深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民・企業に対する港湾事業の理解促進に向けた広報活動</li> </ul>	
大規模災害等に対する万全なリスク対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地震・津波対策などBCP・BCMへの日常的な取り組みと高度化</li> <li>● 予想されるオールハザードへの対応検討</li> </ul>	
人財育成の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次代を担う人財像の把握とそれに合わせた人財育成</li> </ul>	
労働環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークライフバランスの確立に向けた諸制度の検討</li> </ul>	
デジタル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当社に適したデジタル化体制の確立</li> <li>● 情報漏洩対策など情報セキュリティ体制の整備</li> </ul>	

